

製品名: Ptx3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16687**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	PTX3 PTX3; TNFAIP5; TSG14; Pentraxin-related protein PTX3; Pentaxin-related protein PTX3;
別名	Tumor necrosis factor alpha-induced protein 5; TNF alpha-induced protein 5; Tumor necrosis factor-inducible gene 14 protein; TSG-14
遺伝子 ID	5806.0
SwissProt ID	P26022
免疫原	抗血清はヒト PTX3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

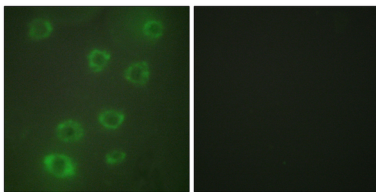
背景

この遺伝子は、ペンタキシンタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質の発現は、炎症刺激に対する炎症性サイトカインによって誘導され、様々な間葉系細胞および上皮細胞、特に内皮細胞および単核食細胞において誘導されます。このタンパク質は線維芽細胞の分化を促進し、炎症および補体活性化の調節に関与しています。また、血管新生および組織リモデリングにも関与しています。このタンパク質は、様々な炎症性疾患のバイオマーカーとして機能します。[RefSeq 提供、2016年6月],機能: 病原体に対する自然抵抗性、炎症反応、おそらく自己成分の除去、および女性の生殖能力の調節に関与しています。誘導: インターロイキン-1 β および TNF- α による。PTM: グリコシル化。類似性: 1つのペンタキシンドメインを含む。サブユニット: ホモ八量体; ジスルフィド結合。C1q に結合する。

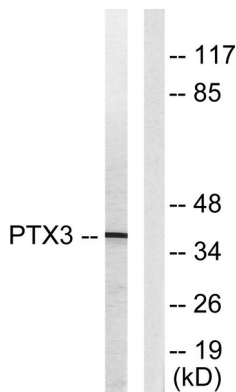
研究分野

アテローム性動脈硬化症、血管炎症、自然免疫および獲得免疫、心血管、血管系、内皮、神経科学、プロセス、血栓症、血管新生、血管新生因子、免疫学、分泌分子、その他の分泌分子、癌、浸潤/微小環境、血管新生増殖因子

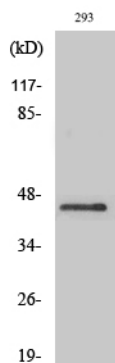
画像データ



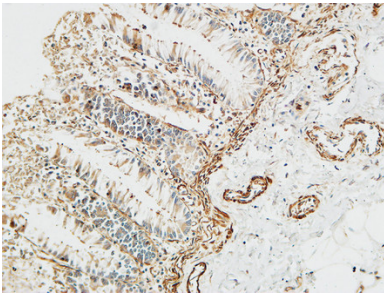
PTX3 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



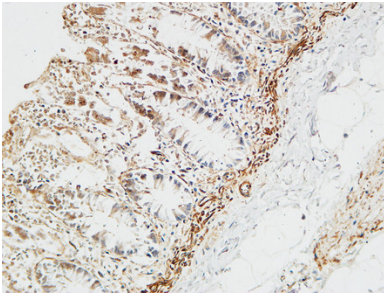
PTX3 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



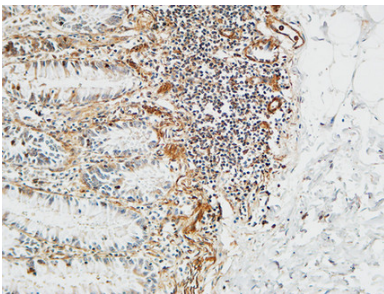
1: 1000 に希釈した Ptx3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。